

令和6年度 期末評価結果

共同利用・ 共同研究拠点名	能楽の国際・学際的研究拠点
大学等名 (研究施設名)	法政大学（野上記念法政大学能楽研究所）
評価区分 (期末評価結果)	A
評価コメント	本拠点は、能楽に関する歴史的変遷を調査・研究するとともにその芸術性を解明し、また、収集した文献資料を広く公開して、能楽研究の発展と能楽の振興に寄与することを目的として拠点活動を実施している。共同利用・共同研究拠点としての活動は概ね順調に行われており、関連コミュニティにも貢献していると評価できる。 能楽研究の基盤となる資料のデータベースを構築するとともに、英語版能楽全書の刊行や外国人研究者の着実な受入れを行うなど、小規模な拠点ながらも能楽研究の国際化に向けて活発な拠点活動が行われている。 今後は、構築されたデジタル・アーカイブを活用することによる新しい研究展開や更なる国際的な活動に向けて、拠点の持続的な運営体制も含め、構想・計画を具体化して取り組んでいくことが期待される。